平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場会社名　福山通運株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　9075　URL　http://www.fukutsu.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役　社長執行役員　(氏名) 小丸　成洋
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員　経理・財務担当　(氏名) 桑本　聡　TEL 084-924-2000

四半期報告書提出予定日　平成23年11月15日　配当支払開始予定日　平成23年12月6日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	123,597	△1.8	6,594	2.4	6,831	△7.3	4,114	12.2
23年3月期第2四半期	125,866	15.1	6,441	12.1	7,369	25.9	3,668	6.5

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　3,557百万円　(101.1%)　23年3月期第2四半期　1,768百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	16.72	—
23年3月期第2四半期	14.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	348,341	175,611	49.8
23年3月期	353,493	174,973	48.7

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　173,479百万円　23年3月期　172,221百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.50	—	4.50	9.00
24年3月期	—	5.00			
24年3月期(予想)			—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	251,000	△1.8	13,500	3.1	13,700	△4.0	12,800	53.6	52.74

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	278,851,815 株	23年3月期	278,851,815 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	34,148,110 株	23年3月期	31,139,819 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	246,118,421 株	23年3月期2Q	253,248,771 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績の予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益及び包括利益計算書 …… 6
第２四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）セグメント情報等 …… 9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10

※　当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。
平成23年11月15日（火）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災後の厳しい状況下のなかで、サプライチェーンの早期復旧や輸出の持ち直し等により幾分改善の兆しは見受けられましたものの、円高や海外経済の減速懸念などにより、民間設備投資や個人消費も回復には程遠く、総じて低調に推移してまいりました。

貨物自動車運送業界におきましては、国内景気の低迷から国内貨物総輸送量は落ち込み、震災復興に係る荷動きにも力強さに欠けるなかで燃料価格の高止まりも加わり、引き続き厳しい経営環境下にありました。

このような状況のもと当社グループでは、中期経営計画の最終年度を迎え、安全・安心な輸送サービスの提供を基本に、経営目標の達成に向けて事業展開を図ってまいりました。

なお、９月には産直便「味のふる里便」サイトなどホームページの一部リニューアルを行い、お客様満足度の向上にも努めてまいりました。

以上の結果、売上高は1,235億97百万円（前年同期比1.8％減）、営業利益は65億94百万円（前年同期比2.4％増）となりました。

これらを事業別に見た事業の概要は次のとおりであります。

運送事業におきましては、震災等の影響を受け輸送量が落ち込むなかで、新規顧客の開拓など小口商業荷物を中心とした積極的な営業展開を図るとともに、従来から推進している適正重量・容積収受の基本方針を堅持し、不採算荷物の撤廃に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は1,105億73百万円（前年同期比2.2％減）、営業利益は60億10百万円（前年同期比7.5％増）となりました。

流通加工事業におきましては、新規顧客の開拓に努めるなかで、復興需要の影響から物流施設の稼働率は大幅に向上してまいりました。

以上の結果、売上高は59億57百万円（前年同期比5.5％増）、営業利益は5億50百万円（前年同期比7.0％増）となりました。

国際事業におきましては、震災後ほぼ壊滅状況下にあった輸出入業務も回復に向かい、特に輸入貨物におきましては、復興需要や円高の影響も加わり著しく増加し、通関業務は好調な運びとなりました。なお、６月には日系企業の進出が目覚ましいベトナムに駐在員事務所を開設いたしました。

以上の結果、売上高は12億75百万円（前年同期比3.0％増）、営業利益は1億83百万円（前年同期比4.2％増）となりました。

その他事業におきましては、コンビニエンスストア事業は活況を呈してまいりましたが、賃貸施設の減少や商品販売も振るわず、総じて低調に推移してまいりました。

以上の結果、売上高は57億91百万円（前年同期比2.3％減）、営業利益は19億35百万円（前年同期比9.7％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて51億51百万円減少し3,483億41百万円となりました。これは主に現金及び預金や受取手形及び売掛金の減少などにより流動資産が26億60百万円、建物及び構築物や投資有価証券の減少などにより固定資産が24億91百万円減少したことによります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて57億89百万円減少し1,727億30百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が減少した反面、１年内返済予定の長期借入金が増加したことなどにより流動負債が6億84百万円増加しましたが、長期借入金の減少などにより固定負債が64億74百万円減少したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて6億37百万円増加し1,756億11百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の減少によりその他の包括利益累計額が4億43百万円、少数株主持分が6億19百万円減少いたしましたが、利益剰余金の増加により株主資本が17億1百万円増加したことによります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済情勢は、震災復興に伴う景気の持ち直しが期待されるものの、円高の進行や海外景気の悪化懸念が払拭されないまま推移するものと予想されます。

貨物自動車運送業界におきましては、国内貨物総輸送量が景気動向を反映し小幅な持ち直しにとどまり、厳しい経営環境が続くものと予想されます。

こうしたなか当社グループでは、運送事業におきましては国内ネットワークの拠点整備に努め、企業間物流における小口荷物の取扱増を目指してまいります。また、流通加工事業及び国際事業ともに積極的な営業展開を行ってまいりますが、特に、国際事業におきましては、日本・中国・韓国間にネットワークを巡らす海上ホワーディング業者、三統㈱と業務提携を締結し、国際部門の強化と事業規模の拡大を図り、人材育成や付加価値の高いサービス

の創造に取り組んでまいります。

以上により、当期の連結業績予想は前回発表（平成23年８月５日）から変更しております。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第２四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③法人税等並びに繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,046	28,508
受取手形及び売掛金	33,212	31,410
繰延税金資産	1,639	1,579
その他	2,746	3,432
貸倒引当金	△127	△74
流動資産合計	67,517	64,856
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	195,532	194,609
減価償却累計額	△128,105	△129,217
建物及び構築物（純額）	67,426	65,391
機械装置及び運搬具	54,050	53,504
減価償却累計額	△46,304	△47,516
機械装置及び運搬具（純額）	7,746	5,987
工具、器具及び備品	12,631	12,975
減価償却累計額	△10,637	△10,859
工具、器具及び備品（純額）	1,994	2,116
土地	178,486	178,721
建設仮勘定	1,008	2,998
有形固定資産合計	256,663	255,215
無形固定資産	2,230	2,264
投資その他の資産		
投資有価証券	22,256	21,179
繰延税金資産	1,283	1,343
その他	3,689	3,631
貸倒引当金	△145	△149
投資その他の資産合計	27,082	26,004
固定資産合計	285,976	283,484
資産合計	353,493	348,341

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,100	14,662
短期借入金	11,800	10,800
1年内償還予定の社債	10,140	10,000
1年内返済予定の長期借入金	13,196	17,851
リース債務	1,500	1,399
未払法人税等	2,125	3,265
賞与引当金	3,179	3,094
災害損失引当金	816	405
その他	18,560	17,627
流動負債合計	78,421	79,106
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	17,763	17,807
長期借入金	27,309	21,544
リース債務	2,852	2,205
再評価に係る繰延税金負債	31,322	31,321
退職給付引当金	14,290	14,861
負ののれん	170	146
その他	6,389	5,737
固定負債合計	100,099	93,624
負債合計	178,520	172,730
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,310	30,310
資本剰余金	37,107	37,107
利益剰余金	89,282	92,283
自己株式	△13,318	△14,617
株主資本合計	143,382	145,083
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,420	1,977
土地再評価差額金	26,421	26,420
為替換算調整勘定	△2	△1
その他の包括利益累計額合計	28,839	28,396
少数株主持分	2,751	2,131
純資産合計	174,973	175,611
負債純資産合計	353,493	348,341

（２）四半期連結損益及び包括利益計算書
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	125,866	123,597
売上原価	117,356	114,951
売上総利益	8,509	8,645
販売費及び一般管理費	2,067	2,050
営業利益	6,441	6,594
営業外収益		
受取利息	19	4
受取配当金	285	289
有価証券売却益	0	－
負ののれん償却額	24	24
補助金収入	940	69
その他	201	232
営業外収益合計	1,471	620
営業外費用		
支払利息	371	252
金利スワップ評価損	88	69
その他	84	62
営業外費用合計	543	384
経常利益	7,369	6,831
特別利益		
固定資産売却益	337	14
貸倒引当金戻入額	10	－
負ののれん発生益	－	408
その他	2	－
特別利益合計	350	423
特別損失		
固定資産売却損	1	46
固定資産除却損	159	197
減損損失	416	55
投資有価証券評価損	55	56
投資有価証券売却損	－	17
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	99	－
ゴルフ会員権評価損	－	0
特別退職金	65	－
特別損失合計	797	374
税金等調整前四半期純利益	6,921	6,880
法人税、住民税及び事業税	2,592	3,025
法人税等調整額	347	△160
法人税等合計	2,939	2,864
少数株主損益調整前四半期純利益	3,982	4,016

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主利益又は少数株主損失（△）	314	△98
四半期純利益	3,668	4,114
少数株主利益又は少数株主損失（△）	314	△98
少数株主損益調整前四半期純利益	3,982	4,016
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,211	△458
土地再評価差額金	△0	△1
為替換算調整勘定	△1	0
その他の包括利益合計	△2,214	△459
四半期包括利益	1,768	3,557
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,461	3,670
少数株主に係る四半期包括利益	307	△113

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,921	6,880
減価償却費	5,159	4,594
負ののれん償却額	△24	△24
減損損失	416	55
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	99	－
引当金の増減額（△は減少）	△1,075	25
その他	340	△990
小計	11,838	10,541
利息及び配当金の受取額	304	294
利息の支払額	△313	△208
法人税等の支払額	△3,967	△1,909
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,861	8,717
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,824	△4,560
有形固定資産の売却による収入	4,847	174
投資有価証券の取得による支出	△429	△250
投資有価証券の売却による収入	1	342
定期預金の預入による支出	△8,159	△936
定期預金の払戻による収入	12,759	636
その他	△213	△483
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18	△5,077
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入れによる収入	28,100	23,281
借入金の返済による支出	△28,252	△25,391
社債の償還による支出	△5,966	△140
セール・アンド・リースバックによる収入	426	－
リース債務の返済による支出	△598	△748
配当金の支払額	△1,030	△1,125
自己株式の取得による支出	△1,295	△1,299
その他	△227	△53
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,844	△5,478
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,003	△1,837
現金及び現金同等物の期首残高	29,360	28,735
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,357	26,897

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年９月30日）
１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	運送事業	流通加工事業	国際事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	113,053	5,646	1,237	119,937	5,928	125,866
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	4,676	4,676
計	113,053	5,646	1,237	119,937	10,605	130,542
セグメント利益	5,589	514	176	6,280	2,143	8,424

（注）　「その他」には、不動産の賃貸業、物品販売事業及び労働者派遣業（委託業務）等を含んでおります。

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	6,280
「その他」の区分の利益	2,143
全社費用（注）	△1,982
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	6,441

（注）　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない広告宣伝費及び各連結会社本社の管理部門に係る費用であります。

３　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
（固定資産に係る重要な減損損失）
「運送事業」及び「流通加工事業」のセグメントにおいて、土地及び機械装置を減損しております。
なお、当該減損損失の計上額は、「運送事業」が333百万円、「流通加工事業」が61百万円、「全社費用」が21百万円であります。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	運送事業	流通加工事業	国際事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	110,573	5,957	1,275	117,805	5,791	123,597
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	4,509	4,509
計	110,573	5,957	1,275	117,805	10,301	128,106
セグメント利益	6,010	550	183	6,745	1,935	8,680

（注）　「その他」には、不動産の賃貸業、物品販売事業及び労働者派遣業（委託業務）等を含んでおります。

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	6,745
「その他」の区分の利益	1,935
全社費用（注）	△2,086
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	6,594

（注）　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない広告宣伝費及び各連結会社本社の管理部門に係る費用であります。

３　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

当第２四半期連結累計期間において、特別損失に計上しております減損損失55百万円は、いずれの報告セグメントにも配分されていない遊休資産に係るものであります。

（重要な負ののれん発生益）

「運送事業」セグメントにおいて、連結子会社が当該会社の自己株式を取得したことにより408百万円の負ののれん発生益を計上しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。